

リガク配向度分布ソフトウェアとCTR配向関数 (FiberSimpleOrientation)

Polypropylene でシュミレーションによる極点データを作成して
リガク配向度分布ソフトウェアと FiberSimpleOrientation ソフトウェアの比較を
行ってみました。

データはEuler 角度の広がり半価幅 10deg で VolumeFraction 40%
の fc を比較

	1deg	5deg
CTR	0.3773	0.3751
Rigaku	0.3917	0.4418

測定時、測定間隔を 0.5 度とすれば、ほぼ同一結果が得られます。

2016年03月07日

HelperTex Office

1

Jiku

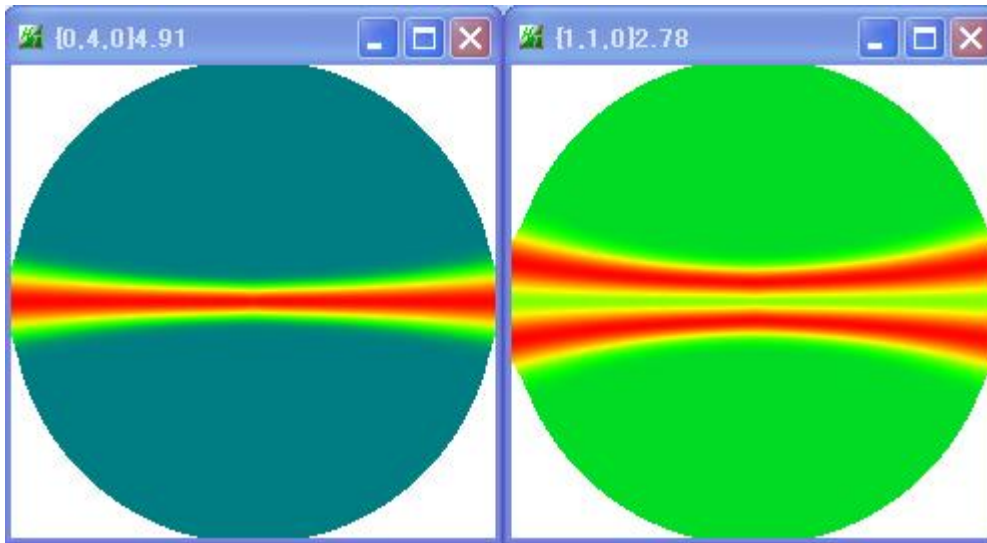
概要

Polypropyleneの1軸配向に関して、配向分布関数計算を比較してみます。FiberSimpleOrientation ソフトウェアは、同一試料でも、測定間隔による評価値の違いを少なくするために、データの内挿が行われていますが、リガク配向度分布ソフトウェアは加工せずに計算が行われています。

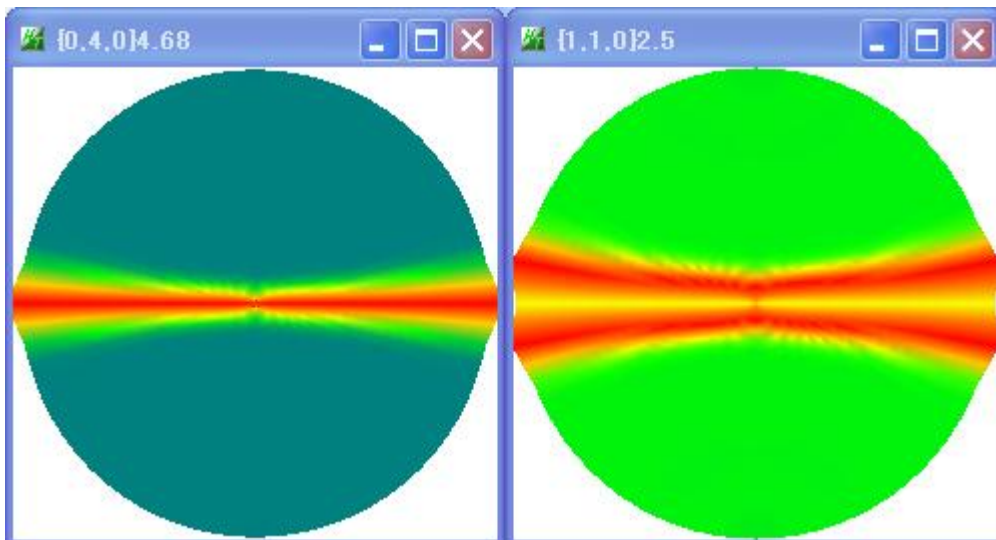
この違いを、1度間隔と5度間隔のテストデータで比較してみます。

比較データ

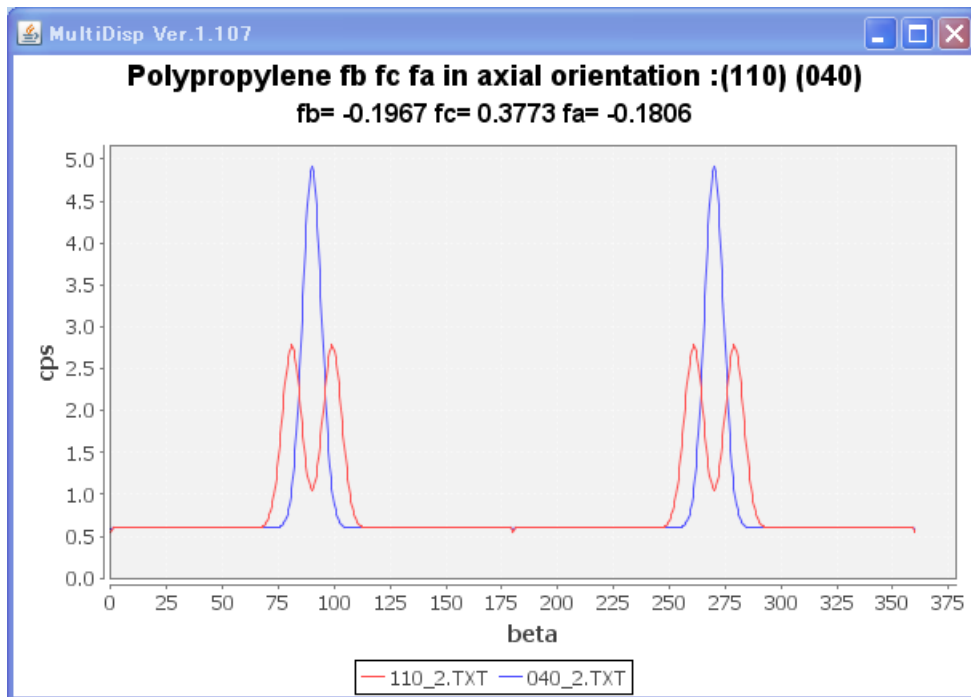
1度間隔データ



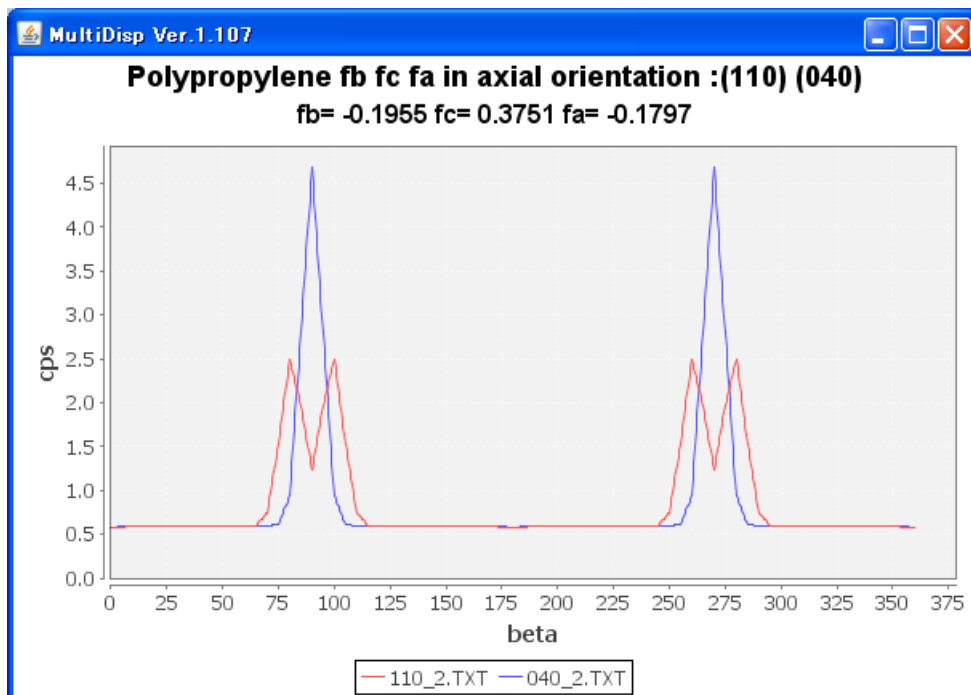
5度間隔データ



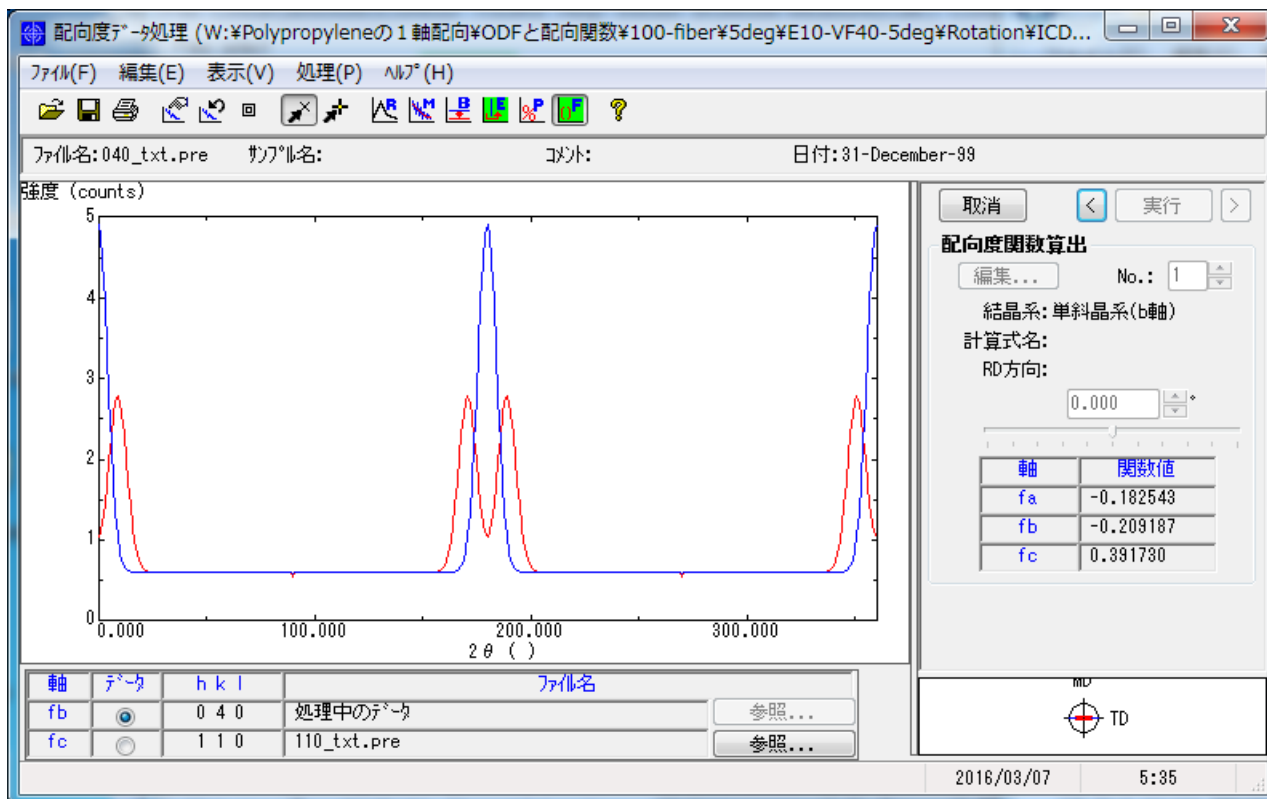
Fiber Simple Orientationによる1度と5度の比較
1度間隔データ



5度間隔データ



リガク配向分布による1度と5度の比較
1度間隔



5度間隔

